

難行・易行。聖道・浄土。雑行・正行。諸行・念仏。

法然房の料簡は諸行と念仏と相對なり。

二義 一勝劣、 一難易。

┌ 廢立

一に諸行を廢して念仏に帰せんが為に而も諸行を説くなり。

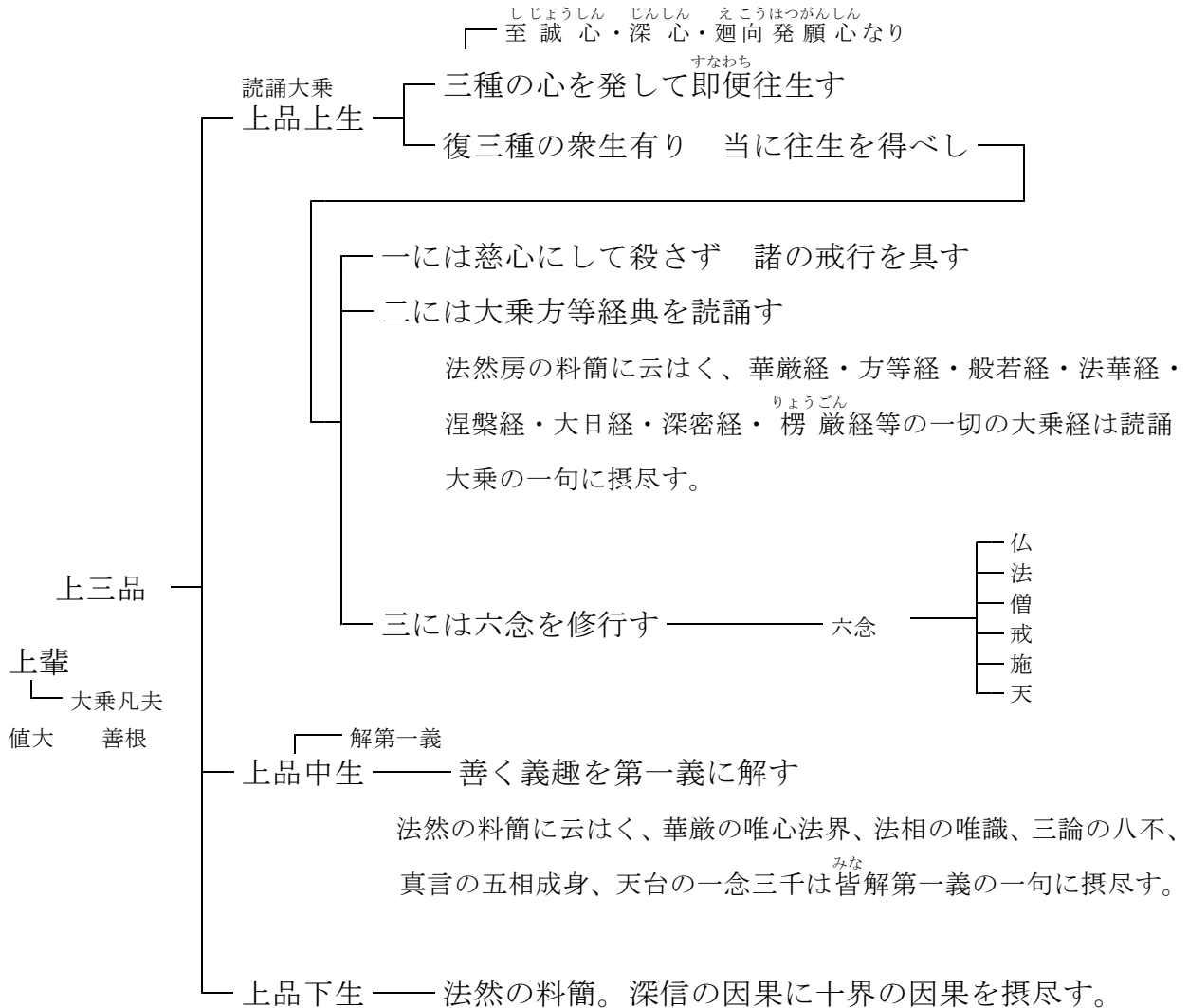
┌ 助正

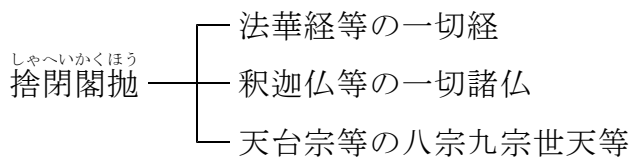
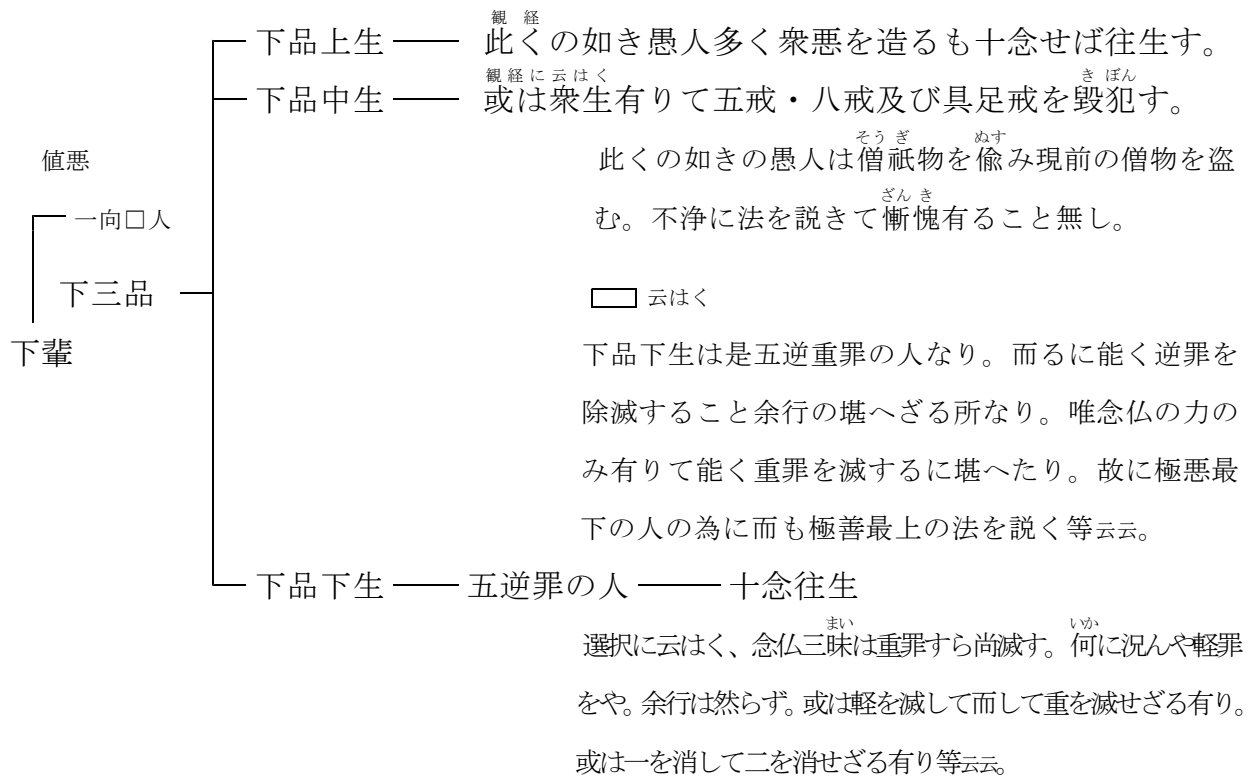
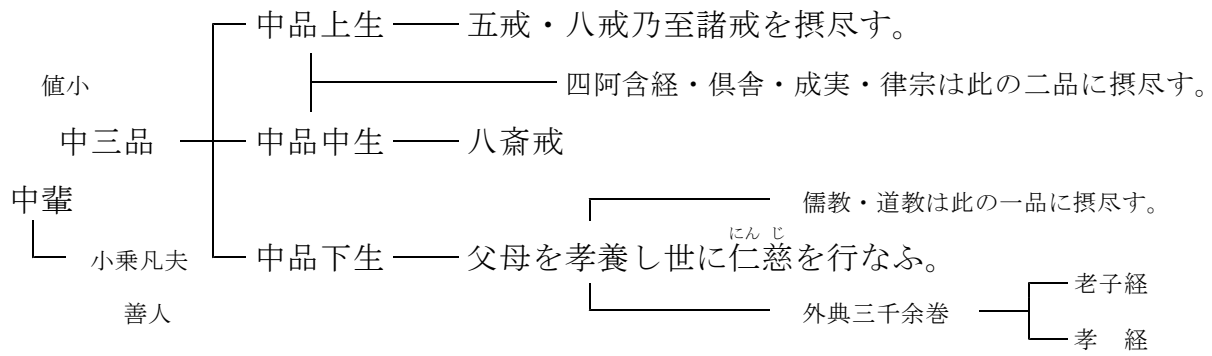
二に念仏を助成せんが為に而も諸行を説くなり。

┌ 傍正

三に念仏・諸行の二門に約して各三品を立てんが為に而も諸行を説くなり。

若し善導に依らば初めを以て正と為すのみ。





浄土三部經阿弥陀仏よりの外なり

安樂集に云はく

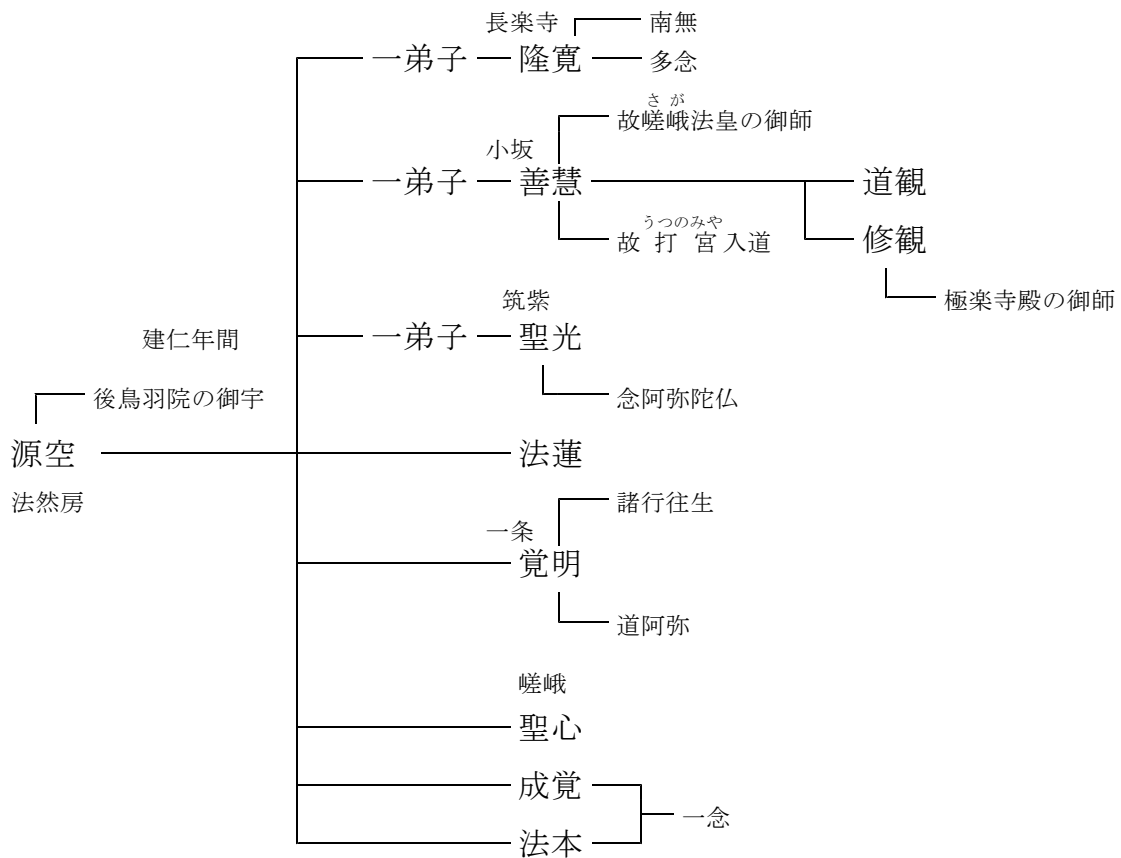
未だ一人も得る者有らず。

唯浄土の一門のみ有りて通入すべき路なり。

往生礼讚に云はく

千中無一

十即十生・百即百生



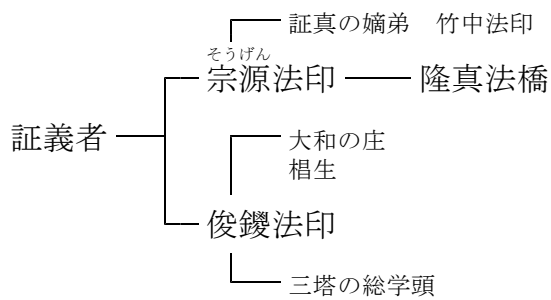
頼顕僧正の御師
菴城寺の長吏

顯真座主
八人の碩徳

公胤大弐僧上 浄土決疑集三巻を造りて法然房の選択集を破す、
隨機の諸行皆往生を為すべし等云云。

故宝地房法印証真の弟子
上野清井者

定真堅者^{りっしや} 弾選択二巻を造る。隨機諸行往生



三千人の大衆

